



大会には全国から大勢の直販所関係者が参加しました

抱える悩みを相互に交換

全国直売所研究会「第4回東日本ブロック大会」

全国の直売所運営者などをつくる全国直売所研究会(長谷川久夫会長)主催の「第4回東日本ブロック大会」が2月26、27日の両日、中田農村環境改善センターで東北各県や東京などの直売所関係者な



価格の設定や集客のポイントなどについての意見交換

約250人が参加して開催されました。これは、直売所の関係者が一堂に集い、直売所が抱える多くの問題を協議や情報交換することによって解決することにより、今後の経営に生かそうと開催されたものです。大会では、直売所研究会から全国の直売所の情勢が説明された後、パネルディスカッションが行われ、株みやぎ東和開発公社の飯塚哲朗さん(東和)をはじめ5人が「農工商、産学官連携でなにができるか」をテーマに各分野の視点で意見を交わしました。参加者は「ほかの直売所の集客方法などが聞くことができ、大変参考になった。」と、話していました。

不断の努力をたたえて

市内の155人、19団体が受賞「文化・スポーツ賞表彰式」



各部門ごとの代表者に表彰状と記念品が渡されました

文化・スポーツの分野で優秀な成績を収めた個人・団体と指導者を表彰する、平成20年度市文化・スポーツ賞表彰式が3月8日、石森ふれあいセンターで行われました。来式には受賞者や引率者、来賓約270人が参加。文化・スポーツの6部門で155人、19団体が受賞し、各部門の代表者10人が布施市長から表彰状と記念品を受け取りました。受賞者を代表して、19年間



受賞者を代表して佐瀬さんが空手の形を披露

にわたり登米ふるさと学習で伝統の「とよま風」づくりを指導している阿部昭夫さん(登米)が「自分一人の力だけで続けてこれたわけではありません。指導を続けてこれたのも、周りの皆さんの協力があつたからです」と、御礼のあいさつを述べました。代表発表では、第29回全東北・北海道防具付空手道選手権大会中学生女子形の部で第1位に輝いた佐瀬楓さん(南方中)が見事な空手の形を披露しました。

市スポーツ&入賞情報(敬称略)

第4回市中学校インドアソフトテニス大会

開催日 1月24日(土) 25日(日)
会場 中田総合体育館

- 【男子】
 - 第1位 工藤・岩淵(東和中)
 - 第2位 及川・石川(中田中)
 - 第3位 伊藤・織田(中田中)
- 鈴木(翔) 佐々木(佐沼中)
- 【女子】
 - 第1位 佐藤・島山(東和中)
 - 第2位 阿部・及川(東和中)
 - 第3位 工藤・仲館(中田中)
- 沼倉・三浦(中田中)

第4回市オープン卓球大会

開催日 3月8日(日)
会場 中田総合体育館

- 【混合ダブルス】
 - 第2位 佐藤裕・藤浦瞳(登米クラブ)

第38回日本農業賞

開催日 3月7日(土)
会場 東京都「NHK放送センター」

- 【個別経営の部】
 - 大賞 農業生産法人 有限会社伊豆沼農産(迫)

第14回ミニバスケットボール交流大会in登米

開催日 2月21日(土) 22日(日)
会場 中田総合体育館

- 【男子】
 - 第2位 中田バスケットクラブ
- 【女子】
 - 第2位 登米ウルブズJr
 - 第3位 中田バスケットクラブ

第4回市スポーツ少年団卓球交流大会

開催日 3月1日(日)
会場 中田総合体育館

- 【男子シングルス】
 - 第1位 小松慶太郎(中田)
 - 第2位 皆川敦志(中田)
 - 第3位 菊地真治(米山)
- 細浦樹(南方)
- 【女子シングルス】
 - 第1位 皆川理沙(中田)
 - 第2位 千葉菜亜莉(中田)
 - 第3位 佐藤美涼(中田)
- 寺川千晶(中田)

平成20年度宮城県スポーツ少年団表彰式

開催日 3月15日(日)
会場 KKRホテル仙台

- 【日本スポーツ少年団顕賞】
 - 飯塚敏郎(中田)
 - 桑嶋欣一(豊里)
- 【宮城県スポーツ少年団功績賞】
 - 木村健喜(迫)
 - 千葉利行(東和)
- 【宮城県スポーツ少年団功労賞】
 - 佐藤砂史史(迫)
 - 秋山幸治(豊里)

先人の偉業に思いを寄せて

市民劇場「夢フェスタ水の里」

明治時代、貧困に苦しむふるさとの人を救うため、村人82人とともに新天地を求めてカナダに渡航した東和町米川出身の実業家、及川甚三郎(おじい)をテーマにした市民劇場「夢フェスタ水の里」(財団法人登米文化振興財団主催)が3月7、8の両日、登米祝祭劇場で開催されました。平成10年度から始まった「夢フェスタ水の里」は、登米ならではの芸術文化を発信し

ようと、毎回旧9町に伝わる歴史などを手づくりの舞台で演じ、今年で11回目の公演となりました。今回も「夢フェスタ実行委員会」を中心に脚本や演出などのすべてをボランティアの手によって進め、市内外から応募した5歳から70歳までの出演者約50人も昨年11月から、練習に汗を流してきました。



公演後には夢フェスタのテーマソングを全員で熱唱



迫力ある演技がステージ上で繰り広げられました

公演では「加奈陀に渡った螢火の夢 アメリカ及甚物語」と題し、及甚の苦難や家族・仲間との絆などを通して、「夢を持つこと」の大切さなどを伝える、素晴らしい公演が繰り広げられました。夜公演の初日には870人、2日目の昼公演には913人が訪れ、会場は大勢の観客であふれていました。どちらの公演も、熱のこもった素晴らしい演技で、公演終了後は会場からわれんばかりの歓声や拍手がいつまでも鳴り響いていました。



同時開催のアメリカ及甚展にも多くの人が訪れました

防災ミニ情報

⑦ 通電火災に注意

今から14年前に発生した「阪神・淡路大震災」では、ガスや灯油を使用するコンロや暖房器具から発生した火災のほか、電気による通電火災も多く発生しました。通常、地震が発生すると電気は安全のため自動的に止まるようになっていますが、被害の大きさによっては復旧までに多くの時間がかかるため、住民が避難した後に電気が復旧し、電源を入れたままの電化製品に電気が流れて発熱したり、破損した配線がショートしたりして火災が発生する場合があります。このような火災を「通電火災」といいます。通電火災を防ぐ一番の対策は「ブレーカーを切る」こと。もしものとき慌てないためにも、ブレーカーの位置の確認や、避難の際にはブレーカーを「切」にすることが家族で話し合っておきましょう。

